

## セネガル 農業

# 地域資源の循環による、 農村コミュニティ生計向上プロジェクト

土、水、自然の循環の仕組みやコストを理解し、計画的・効率的に作物を育てる農業へ

### 2018年度の活動

#### モデル農家養成研修

青年農家50人に対し、「農業経営に必要な4要素＝土・水・時間・空間」をテーマにした研修を実施。例えば、栽培面積に応じた収量の予測(空間のマネジメント)の重要性と計算方法を学びました。実際に計算をしてみると、収量が多くても、収穫までのコストがかかっており、収支は赤字に近かったことが明らかになった参加者もいました。

#### ファーマーズ・スクールの整備

他方、ファーマーズ・スクールでは、有機農業の実践を始めました。また、家畜の導入、灌漑設備の補強などファーマーズ・スクールの整備を進めました。今後は「地域資源を活用した農業モデルを実践・普及する場」と位置づけ、研修等で活用する予定です。

#### モニタリング

事業パートナーであるIntermondesスタッフとともに、モデル農家養成研修参加者の村を定期的に訪問し、研修の理解度や実践状況を確認しました。研修を理解し、実践に移している村人が確認できたため、彼らを中心に、指導員を養成していく予定です。



### 2019年度の活動計画

2018年度までに実施した研修を土台として、学んだことや実践を自分の言葉で伝えていく指導員を育成する予定です。

これまでに研修で学んできた、土と水の保全という観点を大切にしながら、指導員たちが地域の実情を考慮した村人たちとの関わり方ができることをめざします。特に2018年度は降水量が少なく、乾季の栽培を断念した研修生もいましたが、そういった研修生に対して、農民たちのつながりを通して農業の知恵や工夫を共有したり、栽培以外の活動の可能性の気づきをもたらしたりする機会作りをしています。農民同士の関わりや、やり取りの中で指導員自身も気づくこと、それぞれの持っている経験や知識が強化されることを期待しています。

### プロジェクトについて

どこで セネガル共和国ティエス州ンブル県ンゲニエヌ行政村

だれと 16～24歳までを中心とした青年300人

(JICA「草の根技術協力事業パートナー型」)

地域資源の循環による農村コミュニティ生計向上プロジェクト～農村青年層のための「ファーマーズ・スクール」)

活動パートナー Intermondes(アンテルモンド) ※セネガルのNGO

なにを セネガル農村部に住む主に若年層の農業従事者が、自分たちの地域において、自然資源を活用しながら農業で生計を立てられることを目標とした事業。水や土を守りながら農業の効率性を上げる知恵を共有し、実践を定着・普及させていくために、研修や農業実践の場の提供(ファーマーズ・スクール)を通して、農民たちの活動を支援します。